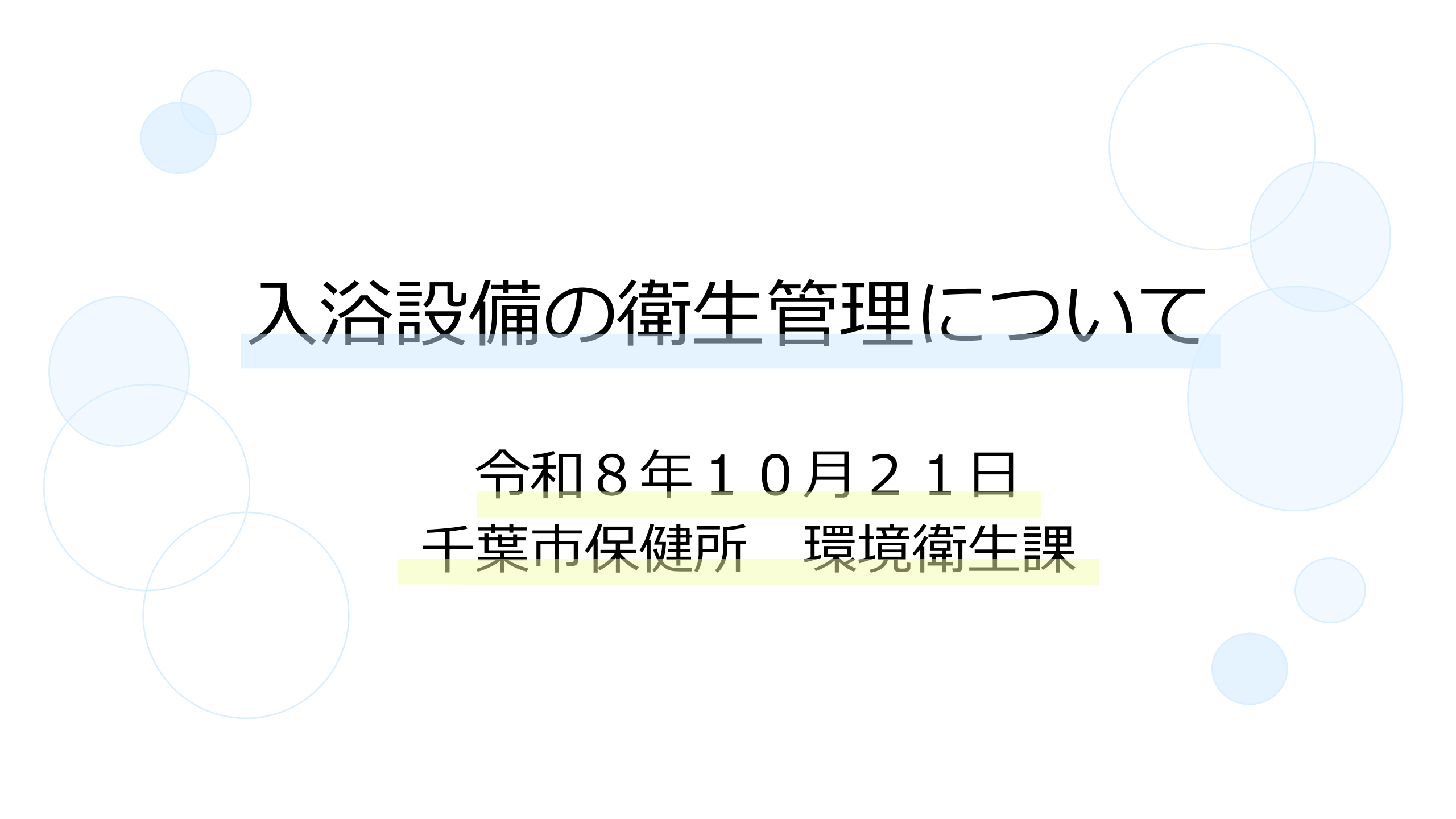




入浴設備の衛生管理について

令和8年10月21日

千葉市保健所 環境衛生課

本日の内容

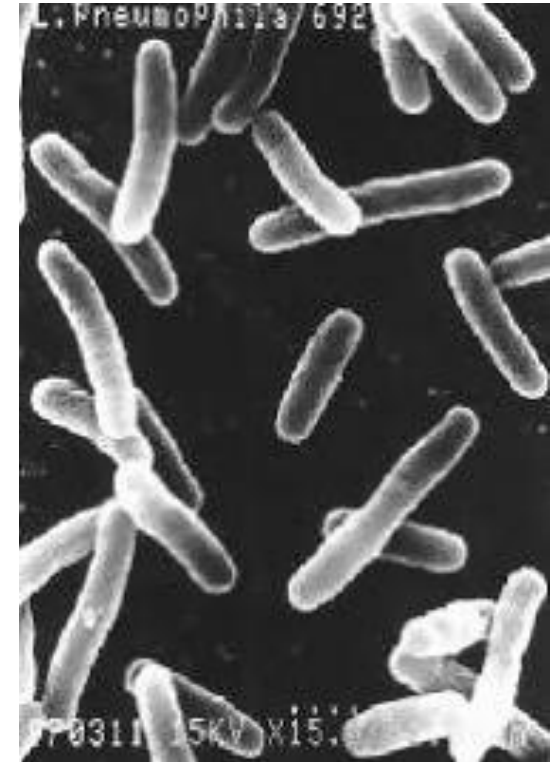
- ▶ はじめに
- ▶ レジオネラ症について
- ▶ 入浴設備の衛生管理について
- ▶ レジオネラ対策講習会開催のお知らせ

はじめに

- 入浴施設で問題となる主な病原体は、**レジオネラ属菌**
- 入浴施設でのレジオネラ属菌の増殖を抑え、それによる感染症患者の発生を防ぐことを目的とした衛生管理が大切

レジオネラ属菌とは

- 土の中や水たまりなど環境中に生息している常在菌
- アメーバなどの原生生物に寄生
- 36℃前後（20～45℃）で増殖
- 人から人へは感染しない
（環境から人へ感染！）



レジオネラ症とは

- レジオネラ属菌を原因として起こる感染症
- レジオネラ属菌が含まれるエアロゾルを吸い込むことで感染。
- 高齢者や子ども、基礎疾患がある方は発症リスクが高い

レジオネラ肺炎

症状：高熱、全身倦怠感、
筋肉痛、吐き気、下痢、
意識障害など

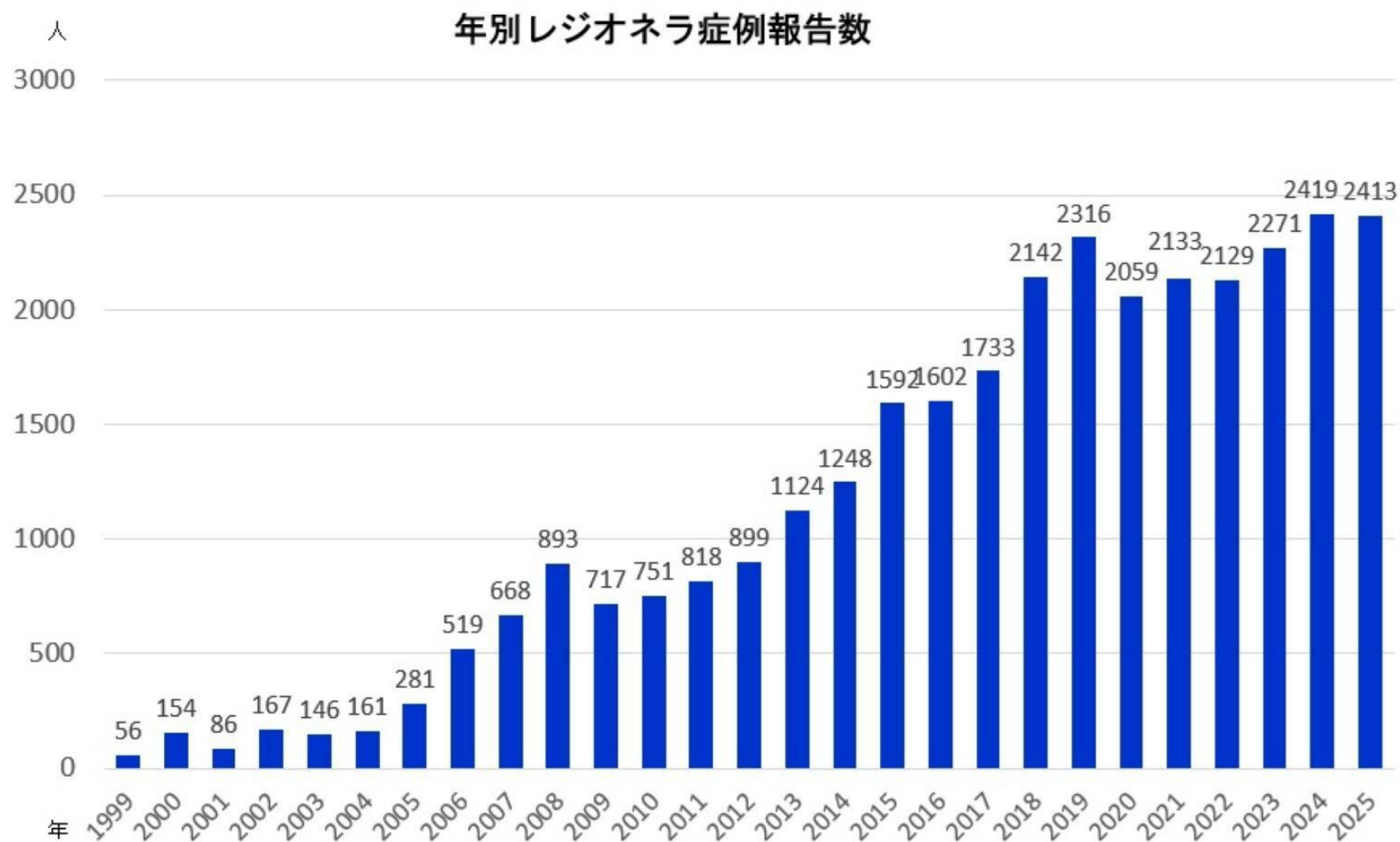
潜伏期間：2～10日間

ポンティアック熱

症状：発熱、寒気、頭痛など
風邪に近い症状

潜伏期間：1～2日間

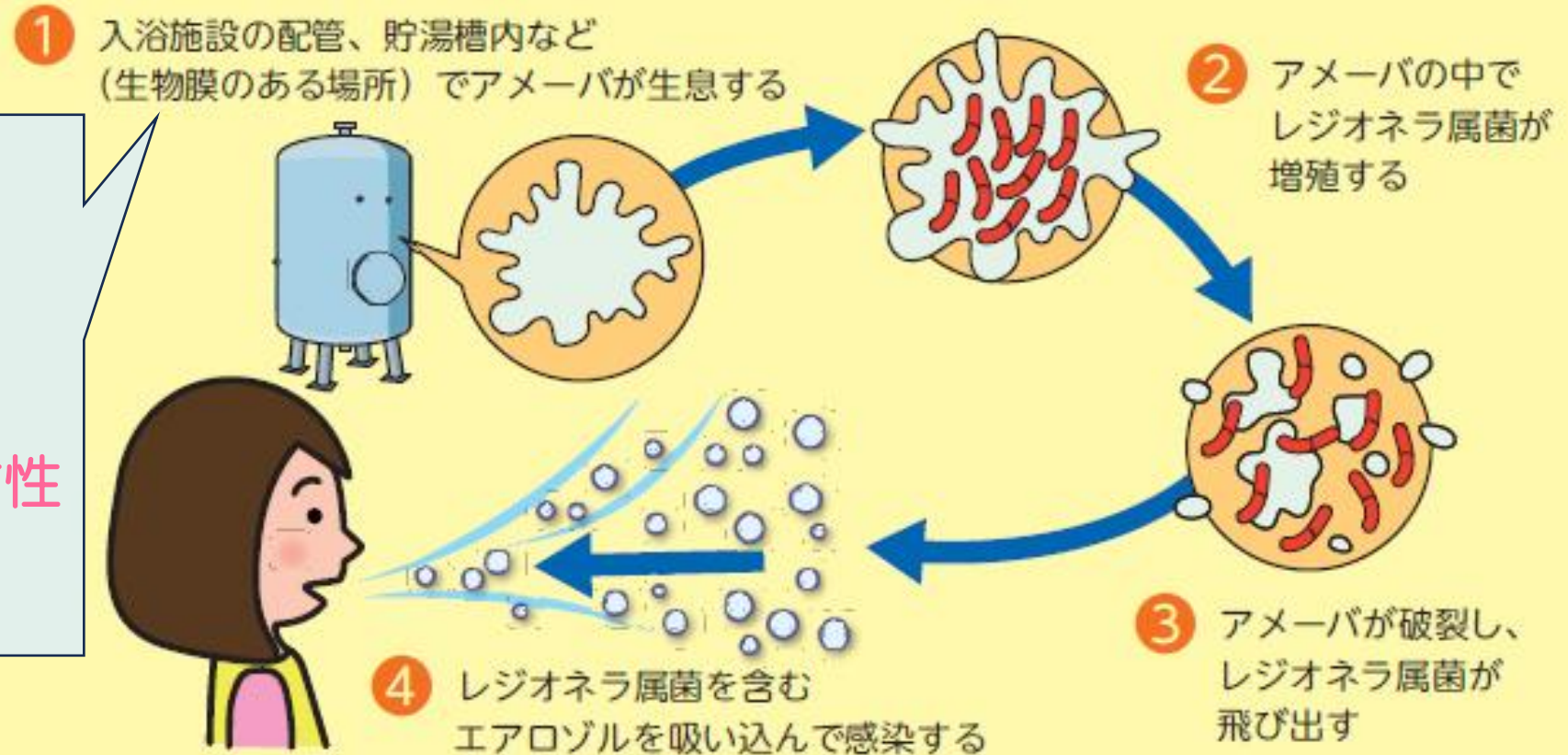
年別レジオネラ症例報告数



※本グラフは国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査・感染症週報をもとに、協会が作成したものです

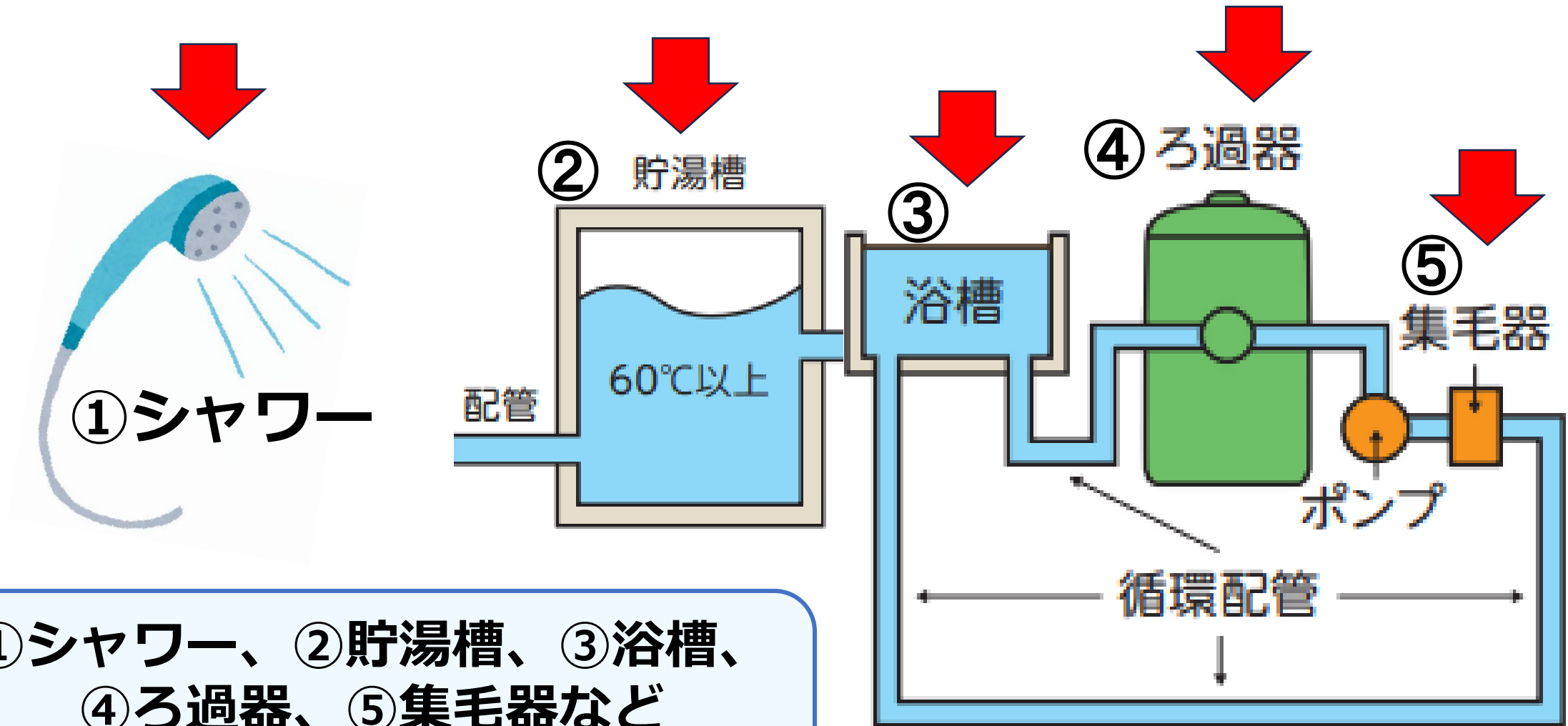
レジオネラ属菌発生から感染まで

有機物(汚れ)多い
→細菌増殖
→ぬめり(生物膜)
ができる
※熱や塩素に耐性
→アメーバ繁殖



厚生労働省パンフレットより抜粋

入浴設備でレジオネラ属菌が発生しやすい場所



厚生労働省パンフレットより抜粋

入浴設備の衛生管理について



- ①【シャワーヘッド・シャワーホース】
- ・ 少なくとも週1回は水道水で通水
 - ・ 半年に1回以上点検
 - ・ 年1回以上は洗浄・消毒



- ②【貯湯槽】
- ・ タンク内は60℃以上を保つ
 - ・ 給湯末端55℃以上を保つ
 - ・ 年1回は清掃・消毒

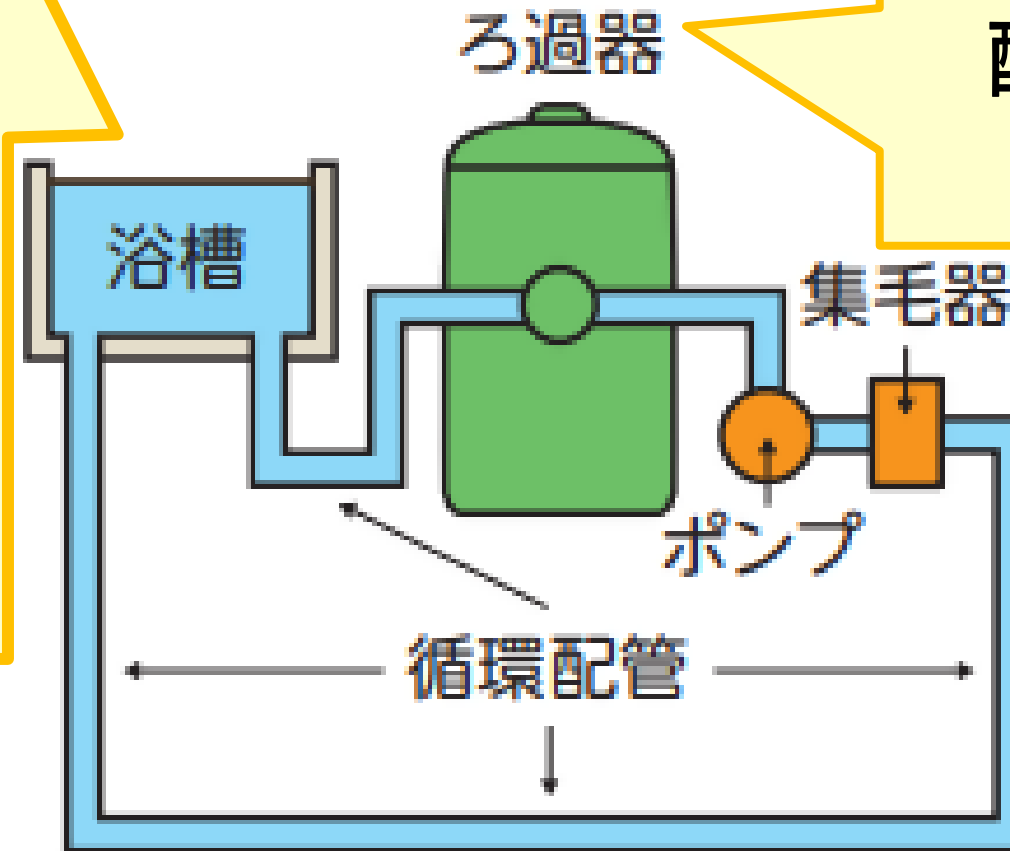
入浴設備の衛生管理について

③【浴槽】

- ・ 毎日換水
- ・ 遊離残留塩素濃度測定
→ 適正濃度
(0.4~1.0mg/L)
を保つ
- ・ 年1回の水質検査

④【ろ過器】

- ・ 週1回以上逆洗
- ・ 高濃度塩素による配管洗浄
(5~10mg/L)



⑤【集毛器】

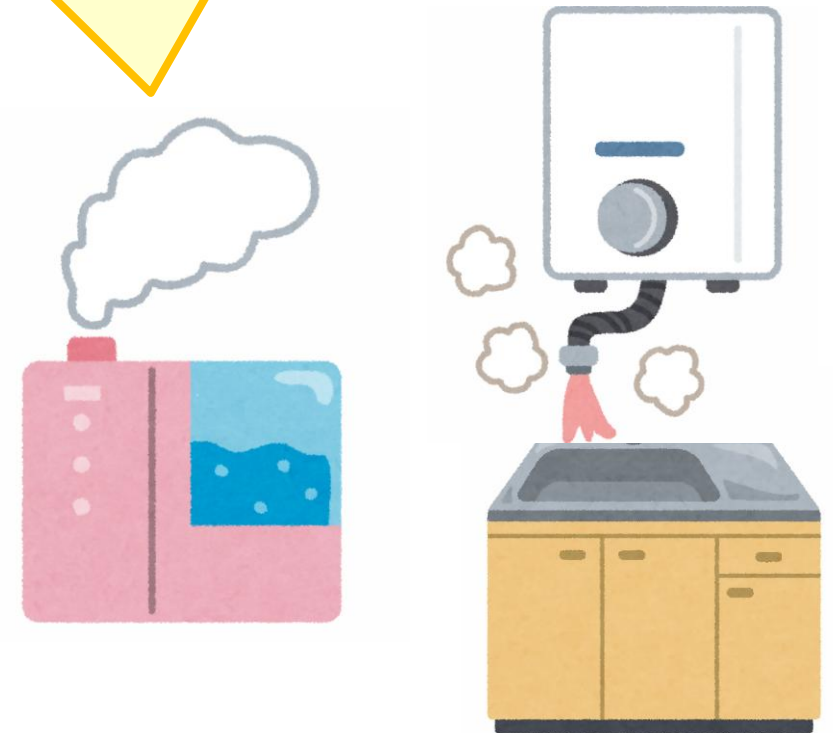
- ・ 毎日清掃・消毒

レジオネラ属菌が発生しやすい場所



超音波式はリスク高！
こまめな換水や洗浄を！！

エアコン、加湿器、給湯器 等



レジオネラ対策講習会開催のお知らせ

- ・対象：市内公衆浴場業者、旅館業者、社会福祉施設関係者
- ・日時：令和9年1月20日（水）13時30分～15時
- ・方法：ZOOMによるオンライン配信
- ・特別講演「浴槽タイプ別のレジオネラ対策について（仮称）」 県技術士事務所 代表 縣 邦雄 様

ご清聴ありがとうございました